



当山は、奥武蔵自然公園内、伊豆ヶ岳、古御岳と続く秩父連峰東端の山頂に位置します。標高は東京スカイツリーとほぼ同じ、640m程あり、山頂に至る登山道は、四季折々に美しい姿をみせ、参拝者は勿論、山の愛好家にも親しまれています。

当山からは、大宮ソニック〜横浜ランドマークタワーまで眺望でき、冬場の晴れた日には、東京スカイツリーを含め、都心の超高層ビル群、東京湾や筑波山も見渡せます。また、雨上がりの雲海は心洗われる素晴らしい景色です。

二本杉 (埼玉県指定天然記念物)

当山門前にある二本杉は、子ノ聖が開山の折、箸代わりに使った杉の枝をここに挿し、それが成長して大木になったと伝えられ、樹齢およそ千年といわれています。



鉄のワラジ

当山では往古より、本尊様へ履物を奉納し、願をかける習わしがあり、境内にある重さ二トンの日本一の鉄のワラジは、その信仰のシンボルとなっています。



本坊

江戸時代末期に建てられたもので、茅と杉の皮で何層にも葺かれた屋根は、当山の名物となっています。庫裡の大黒柱は周囲二メートル三十センチの楓の大木が使われています。



本堂

総ケヤキ造の旧本堂は昭和五十六年七月に落雷により焼失し、その後多くの信者さんの寄付により僅か二年で再建されました。尚、本尊様はじめ仏様は安体でした。角大師や豆大師の護符で親しまれる「厄除元三大師」・十一面観音・不動明王様等が合祀されています。



仁王像 (表紙写真)

当山の黒門に立ちらばかかる仁王像は、昭和十一年に花井探嶺氏によって造像され、その勇壮な姿は邪悪な者を退治し、仏法を護持しようとする意味がこめられています。露座の仁王は稀有な存在です。

祈願

護摩供 (年中無休)

車加持

郵送護摩祈願のすすめ

願掛けワラジ

講中参拝

当山では、皆様のお願いや病の平癒祈願をこめて、毎日御宝前において護摩供を修してあります。護摩は仏様に五穀を供え、願いの事成就を祈り、火を焚くことにより病魔等を退散させるものです。足腰祈願、厄難消除、厄除け、方位除け、家内安全、交通安全、当病平癒、進学祈願等を御祈りいたします。そして本尊様の加持力を込めた御札をお渡しいたします。現代では、人間の足代わりとなっている自動車・バイク等を交通安全の護摩とは別に車体安全の加持祈願を行っております。当山への参詣が困難な方や遠方にお住まいの方の為の御祈願方法として、郵送護摩を受け付けております。本堂御宝前にて護摩供修法しお札を郵送いたします。電話にてお問い合わせください。

ワラジは古来より「御足を運ぶ」といわれ、善事を運び届けるものとされています。二足のうち一方の絵馬形用紙に氏名と願事を記入し本尊様に願いを込めて境内に掛け、もう一方は本尊様の靈験が各々に届けられるように自宅におまつりします。

当山には、百をこえる講中(気のあつた同志で二、三十人の集まりから二百人を超える団体まで)があり、春秋には連日関東一円から登山参詣し、護摩供に参加されます。講は十人以上の集まりで、毎年登山参詣できる方ならごなたでも結成、ご参加いただけます。

行事

除夜の鐘・元朝大護摩供 (大晦日 元旦)

除夜の鐘は当日参加された方々によって行われます。

元朝大護摩供は、その年最初の護摩供で家内安全や厄除等の祈願が行われます。

大祭 (四月十日)

子ノ聖が化寂された日にあたり、護摩供をはじめ大般若経の転読が行われます。

花祭り (五月八日)

御釈迦様の誕生会。当日参詣された方々は甘茶がふるまわれます。

開山日 (六月十日)

子ノ聖が当山を開かれた日にちなみ、護摩供をはじめ二本杉の故事がちなんだ箸立ての儀が行われます。

*大祭・開山祭には正丸駅よりマイクロボスの送迎があります。

御開帳 (子年)

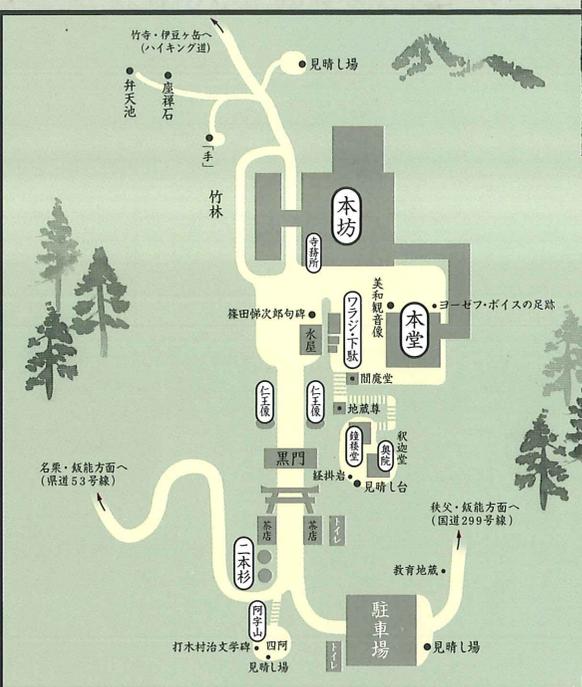
本尊子ノ聖像は秘仏で、十二年に一度、子の年の限られた期間にお厨子の扉が開けられます。本尊様の手に結ばれた五色の紐により多くの方が結縁されます。

座禅止観の会等

お部屋賃しのご案内
茶会・句会・写真・ハイキングなどの同好会等にて、お部屋をお貸ししております。

料金 一名 三百円
時間 十時〜十六時の間
(湯茶・トイレ使用可、飲食物持ち込み可、冬期暖房費別途)

山内図



子ノ権現(天龍寺)略縁起

当山は、延喜十一年(九一一)六月十三日、子ノ聖が初めてこの地に十一面観音をお祀りし、天龍寺を創建されたことに始まります。その後、弟子の恵聖上人が子ノ聖を大権現と崇め、子ノ聖大権現社を建立されました。

現在の和歌山県天野の地に生まれた子ノ聖は、生来才地するどく仏教に通じ、生誕が子年子月子子時刻であったため人々に子ノ日丸と呼ばれ、長じては各地行脚の後当山を開かれました。聖は昇天の折、「我、化縁につきぬれば寂光の本土に帰るべし。然れども、この山に跡を垂れて永く衆生を守らん。我登山の折、魔火のため腰と足を傷め悩めることあり。故に腰より下を病める者、一心に祈らば、その験を得せしめん。」と誓いをたてられました。以来、足腰守護の神仏として信仰されています。



交通のご案内

- ・西武秩父線「吾野」「西吾野」から徒歩約90分(ハイキング道)
- ・西武池袋線「飯能」または西武秩父線「東飯能」からタクシーで約40分
- ・圏央道「狭山・日高インター」より飯能市内経由約60分又は、関越道「鶴ヶ島インター」より約80分
- ・子ノ権現から竹寺まで徒歩約70分(豆口峠経由)

路線図



周辺案内図



※当寺までの山道は全面舗装されております。また山頂には屋根付き駐車場も完備しております。

子ノ権現王站寺

足腰守護

創建九百十一年(延喜十一年)天台宗特別寺

武蔵野観音三十二番札所

関東百八地藏尊十番札所



ねのごんげん